

社会福祉法人愛護会

5<sup>愛</sup>th



# 愛護の道

5<sup>愛</sup>th



社会福祉法人 愛護会 創立50周年記念誌

# 発刊にあたって

社会福祉法人 愛護会 理事長 高野 繁喜



愛護会は今年、50周年という大きな節目を迎えました。その歴史は東京オリンピックが開催された昭和39年（1964）までさかのぼります。同年12月1日、財団法人金ヶ崎愛護会の設立が認可されたうえ、翌40年1月9日、「金ヶ崎保育園」の設立認可がおりたことにより、実質的な事業に乗りだしました。

5年後には名称を社会福祉法人金ヶ崎愛護会に変更し、昭和49年（1974）には知的障がい者更生施設「静山園」の開設にこぎつけました。さらに昭和52年には名称を今日の社会福祉法人愛護会と変更するとともに、法人本部を奥州市水沢区（当時は水沢市）に置きました。

詳しい経緯については本誌の事業内容や沿革などに譲りますが、現在では法人本部事務局、保育事業部会、障がい者援護事業部会、障がい者地域生活援助事業部会、長寿福祉事業部会という5本の柱でもって社会福祉事業にとりくんでおります。このうち長寿福祉事業部会の地域密着型特別養護老人ホーム「愛護苑」は、急速に高齢化が進む地域社会のニーズに応え、平成24年（2012）に開設された新しい施設です。

愛護会は発足以来、行政や関係機関、地域住民などに支えられながら半世紀の歴史を歩んでまいりました。発展の原動力となったのは、なんといっても献身的に仕事にいそしんできた大勢のスタッフです。これまで愛護会を支えてくれたスタッフには感謝してもしきれません。この間、さまざまなドラマがあり、忘れられない出会いがあり、数えきれない

ほどのエピソードがありました。

今後さらに少子高齢化社会など新しい時代に対応した福祉事業にとりくんでいかなくてはなりません。関係各位にはこれからも愛護会を温かく見守り、ご支援していただきます。ようにお願いたします。最後に、私が愛護の道に進もうと決心した山本有三の「路傍の石」の一節を記しておきます。これは愛護会の基本理念・信条にもなっております。

たった一人しかない自分を

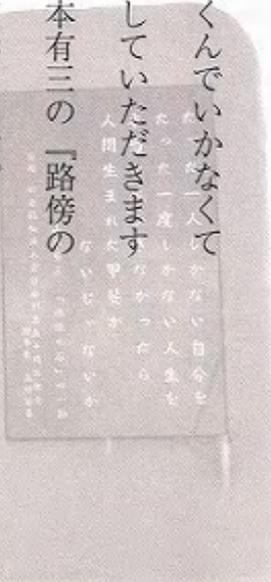
たった一度しかない人生を

本当に生かさなかつたら

人間生れた甲斐がないじゃないか



愛の塔



# 愛護会創立 50 周年に寄せて

公益財団法人三鷹市芸術文化振興財団

三鷹市山本有三記念館 渡辺美知代



社会福祉法人愛護会が創立50周年を迎えられましたこと、心よりお慶び申し上げます。

愛護会は山本有三の「路傍の石」の一節、「たった一人しかない自分を、たった一度しかない人生を、本当に生かさなかつたら、人間生まれた甲斐がないじゃないか」を法人の理念・基本方針に掲げ、長年福祉事業に取り組んでこられました。東京三鷹の地で山本有三の顕彰事業に携わる者としても、大変悦ばしいことと感じております。

平成24年の春、高野繁喜理事長が三鷹市山本有三記念館を訪ねてこられた折に、有三の言葉に共鳴し金ヶ崎の地に保育園を開設されたこと、その後も障がい者援護事業、地域生活援助事業、そして長寿福祉事業と内容の充実を図りながら、愛護会と共に歩まれてきたことをうかがいました。ちょうどその頃、山本有三記念館では「心に太陽を持って―今、胸に響く有三の言葉」と題した企画展を開催しており、展示では愛護会が理念に掲げられている「路傍の石」の一節も紹介していました。高野理事長に館内をご案内しながら、「路傍の石」の展示を前に深いご縁を感じたものでした。

同年8月には、愛護会職員公開研究発表大会にて山本有三の生涯と「路傍の石」についてお話しする機会をいただき、講演の前に職員代表の方々の研究発表を拝聴いたしました。日々の業務に取り組まれている中での気付きや問題意識からテーマを設定し、時間をかけて改善や問題解決を図ろうとされている様子がよく伝わってまいりました。それぞれの職員が現場で担っておられる業務を考えると、多忙の中で研究実践を継続することの難しさが思い浮かびます。愛護会が創立から50年を迎えられましたのも、職員お一人お一人の福祉事業に対する熱意と、たゆまぬ努力があつてのことと思います。

山本有三は「路傍の石」の吾一のように、困難を乗り越えて成長する主人公を繰り返し描きました。有三の生涯も決して平坦なものではなく、高等小学校を卒業後に丁稚奉公へ出されたり、若くして父を亡くすという経験をしつつ、苦学して一高・東京帝大へと進学し、劇作家・小説家・政治家・教育者として多くの業績を残しました。自身の経験に裏打ちされた言葉だからこそ、有三作品は「向日性の文学」として人の胸を打つ力を持っているのではないのでしょうか。

愛護会が取り組まれてきた事業をふり返ってみますと、それは障がいを持つ人も、子どもたちも、お年寄りもそれぞれが、「本当に生きる」「生まれてきてよかったと思える」場や機会の創出であったと思います。これはまさに、「路傍の石」の一節の実現であり、有三の「向日性」の理想を引き継ぐものと言えるでしょう。

山本有三が言葉に託した想いが、愛護会に関わる全ての皆様に届くことを願ってやみません。

末筆ではありますが、社会福祉法人愛護会のますますのご発展と皆様のご健勝を祈念し、お祝いの言葉といたします。



三鷹市山本有三記念館訪問(平成24年2月22日)

社会福祉法人愛護会

創立50周年記念式典次第

◎オープニングセレモニー  
保育園の歌

指揮者 熊坂 悦子  
伴奏者 岩崎加奈子

1、開式のことば

専務理事 千田 寿人

2、君が代斉唱

伴奏者 渡辺 理恵

3、式 辞

理事長 高野 繁喜

4、感謝状贈呈

5、受賞者代表謝辞

受賞者代表 佐々木良光 様

6、祝 辞

岩手県知事

遠増 拓也 様

衆議院議員

小沢 一郎 様

奥州市長

小沢 昌記 様

金ヶ崎町長

高橋 由一 様

7、来賓紹介

8、祝電披露

9、創立50周年総括報告

10、法人歌斉唱

指揮者 佐藤 泉  
伴奏者 松本レイ子

11、閉式のことば

常務理事 高野 絹子

# 社会福祉法人愛護会創立50周年記念式典座席表

社会福祉法人愛護会  
理事 佐々木尚文

社会福祉法人愛護会  
理事 高野 徹

社会福祉法人愛護会  
理事 千葉 信男

社会福祉法人愛護会  
理事 及川紀美子

社会福祉法人愛護会  
監事 佐藤 豊治

社会福祉法人愛護会  
監事 遠藤 計悦

社会福祉法人愛護会  
監事 北條 貢

奥州市副市長  
江口 友之様

金ヶ崎町議会議長  
伊藤 雅章様

奥州市議会議長  
佐藤 修孝様

岩手県議会議員  
及川 幸子様

岩手県議会議員  
郷右近 浩様

岩手県議会議員  
佐々木 努様

岩手県議會議員  
渡辺 幸貫様

社会福祉法人愛護会  
理事長 高野 繁喜

社会福祉法人愛護会  
専務理事 千田 寿人

社会福祉法人愛護会  
常務理事 高野 絹子

社会福祉法人愛護会  
理事 菊地 一夫

社会福祉法人愛護会  
理事 佐々木良光

社会福祉法人愛護会  
理事 三浦 弘子

社会福祉法人愛護会  
理事 佐藤 克夫

金ヶ崎町長  
高橋 由一様

奥州市長  
小沢 昌記様

参議院議員  
平野 達男様

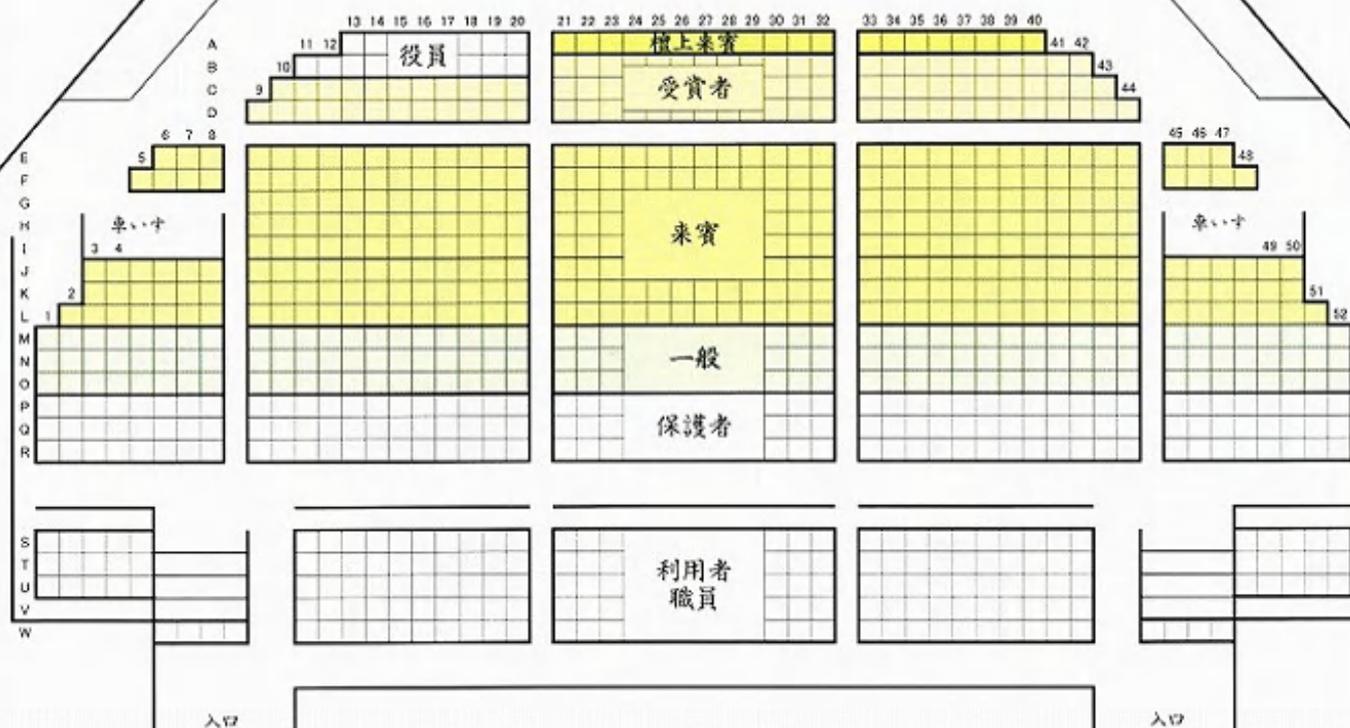
参議院議員  
主演 了様

衆議院議員  
藤原 崇様

衆議院議員  
小沢 一郎様

岩手県知事  
遠増 拓也様

演壇



## 半世紀の支援に感謝を込めて



社会福祉法人 愛護会  
理事長  
高野 繁 喜

社会福祉法人愛護会は発足以来、半世紀の歴史を歩んでまいりました。この間、地域の方や行政当局、企業の方々、施設利用者の保護者の方々、そして職員のみなさまには多大なるご支援ご協力をいただきました。ありがとうございました。

振り返ってみますと、昭和32年4月、「日本の真の再興は賢母の育成から」の思いに駆られ金ヶ崎白糸家政学院を開設、やがて、保育の場を必要とする母親たちが多くなり、昭和39年12月、財団法人金ヶ崎愛護会の設立が認可され、さらに昭和40年1月、金ヶ崎保育園の設立が認可されました。

このことが、愛護会における福祉事業の原点であり、地域の福祉増進に貢献する法人の始まりでもありました。

その後、法人格を財団法人から社会福祉法人に変え、さらに、社会福祉法人金ヶ崎愛護会を社会福祉法人愛護会に名称変更し現在に至っております。

昭和49年には精神薄弱者更生施設静山園を開設し、また、昭和57年までの9年間に、東水沢保育園、授産施設興郷塾、更生施設静山園併設重度棟希望寮（現在の希望の園）、通勤寮ときわ寮を開設し、国庫補助や各種助成団体の支援を受け短期間の間に施設の基盤整備を実現することができました。

その後も、施設整備や委託事業に取り組み、平成24年6月、奥州市の助成により、地域における高齢者のための介護施設として地域密着型特別養護老人ホーム愛護苑を開設させていただきました。在宅関係の福祉サービスを含め、今では、50種の事業を実施する法人となりました。

海軍軍人から教師の道へ進み、そして一挙に駆け抜けてきた福祉の道の50年は「あっ」という間に過ぎ去った時間でした。このように事業を順調に拡大ができたのは、多くの皆さんの支援と、愛護会の基本理念・信条、さらには、事業部会ごとに掲げてきた基本方針に沿って歩んできた結果であると感謝しております。

近年、社会福祉を取り巻く環境は目まぐるしく変化しておりますが、今後さらに少子高齢化社会など新しい時代に対応した福祉事業に取り組んでまいりますので、関係各位のさらなるご支援、ご鞭撻を重ねてお願い申し上げます。

## 祝

### 福祉推進のリーダー的役割



岩手県知事

達 増 拓 也

社会福祉法人愛護会が、創立50周年を迎えられましたことに、心からお祝い申し上げます。

愛護会におかれましては、昭和39年12月の法人設立以来今日に至るまで、数々の社会福祉事業を推進してこられました。特にも保育及び障がい福祉の分野においては、「たくましい子を生み育てるための研究と実践」並びに「障がい者の生き甲斐を保障する環境づくりの研究と実践」という基本方針のもと、金ヶ崎保育園や障がい者支援施設静山園など多くの保育所、障がい者支援施設等の運営に取り組み、地域における拠点として大きな役割を果たしてこられました。また近年は老人福祉分野にも尽力され、平成24年に地域密着型特別養護老人ホーム愛護苑を開設されるなど、岩手県における福祉の向上に広く貢献されており、これまでの歴代の理事長をはじめ役職員の皆様方の御精励に対し、心から敬意を表する次第であります。

御承知のとおり、社会福祉法人におかれましては、高い公益性と共に、より一層の社会貢献を期待されており、多様化する地域の福祉ニーズに柔軟に対応することが求められております。

こうした中、愛護会におかれましては、これまで同様利用者一人一人に寄り添う福祉サービスに精励されると共に、この度の50周年を契機として、岩手県の福祉推進におけるリーダー的役割をより一層果たされますことを御期待申し上げる次第であります。

結びに、社会福祉法人愛護会のますますの御発展と役職員の皆様の御健勝をお祈り申し上げ、お祝いの言葉といたします。

## 辞

### 地域福祉の中核を担う



衆議院議員

小 沢 一 郎

社会福祉法人愛護会創立50周年を心よりお祝い申し上げます。

また、高野理事長には日頃より大変お世話になっており、心から厚く御礼申し上げます。

さて、一口に50年と言ってもそれは大変な月日です。長年に渡りさまざまな社会福祉事業に全力で取り組んでこられました理事長をはじめ愛護会ご関係の皆様に対し、改めまして深く敬意を表する次第です。

いうまでもなく、愛護会は保育園からその事業を開始されました。以降、障害者支援施設、介護施設とあらゆる分野に精力的に事業を拡大され、地域の社会福祉を支えてこられました。まさに揺りかごから介護までの全過程の福祉を担ってこられました。

そして、いま社会福祉を巡っては課題が山積しております。例えば、保育園関係でいえば、やはり「質」の確保であります。質を確保するためには人材を確保しなければなりません。そのためには、待遇改善が必要ということで、国として、しっかりと保育園向け支援を充実させるべきであるというのが私の考えです。職員の配置基準の改善にも積極的に取り組んで参ります。

また、障害者福祉関係では、やはりマンパワーの確保に加え、障害者の高齢化の問題が議論されつつあります。介護保険と障害福祉の狭間で、十分な対応ができにくいと聞いております。今後、制度の改善や人材の育成が急務であり、私も全力で取り組んで参ります。

しかし、そうした中では、何より現場の皆様の御知恵が頼りであります。どうか愛護会の皆様におかれましても、引き続きご指導ご鞭撻のほど、よろしく御祈り申し上げます。

愛護会様が引き続き地域の社会福祉の中核として、「人々と笑顔」と共にますます発展されますよう、心からお祈り申し上げます。

## 祝

### 福祉全般に多様な貢献



衆議院議員

藤原 崇

社会福祉法人愛護会が、記念すべき創立50年を迎えられましたことに、心からお祝いを申し上げます。

また、社会福祉法人愛護会が、昭和39年の設立以来、半世紀もの長きにわたり、障がいを持つ多くの方々の社会参加や就労の機会の創出を始め、福祉全般の各分野において多様な貢献を行い、もって社会全体の福祉の向上と発展に寄与されていることに対して、深く敬意を表します。

現在わが国では、少子高齢化の進行や世帯構成の変化などにより、福祉・介護に対する要望が多様化、高度化している一方、その少子高齢化等を要因として、全産業的に労働力の確保が困難となりつつあります。このような状況下において、国民の要望に的確に対応できる質の高い福祉・介護人材を安定的に確保することは、今後の福祉・介護制度を維持する上で、不可欠の取組みであります。

今後、国としても、各種福祉関係事業者等関係諸団体の方々と連携協働し、より一層の福祉・介護政策の充実に取り組み、誰もが安心して生活できる地域社会の創出を目指して参りますので、皆様の一層の御理解と御協力をお願いいたします。

結びになりますが、社会福祉法人愛護会が創立50年を契機とされまして、今後ますます御発展されますとともに、役員をはじめ職員の皆様、そして関係の皆様の御健勝と御活躍を心から御祈念申し上げます。お祝いの言葉といたします。

## 辞

### 創立50周年を機に益々の発展を



参議院議員

主 濱 了

愛護会創立50周年、誠にめでたうございます。

高野理事長さん始め、役職員並びに関係者の皆様、創設以来ご努力を重ねられてこられた歴代の役職員の皆様に心から御祝い申し上げます。

いま日本は、少子社会そして高齢社会を迎えております。

このような中であって、愛護会が展開している保育園や障がい者支援施設などの事業は、まさに日本の福祉の向上に寄与するものであります。感謝を申し上げますとともに敬意を表するものであります。

さて、いま日本の喫緊の課題の一つは、人口減少を如何に食い止めるかであろうと思っています。

人口が減少すると、経済発展はままならなくなり、国防にも支障を来し、世界における日本が埋没する虞があります。

人口減少をくい止めるためには、全国平均1.43の出生率を、人口が減少しないと言われている2.08まで高めることが不可欠です。

これは、すべての省庁が一丸となって政策を講じる必要のある難しい問題です。

一つには、子育て世代の所得を十分に、かつ安定的に確保しなければなりません。

すくなくとも、子育て世代が非正規労働者になることがないような労働環境を構築する必要があります。

もう一つ、子育て環境の整備です。その一つが保育園の十分な設置です。

この面においても愛護会には、保育園などを設置することなどにより地域へご貢献頂いております。敬意を表するものであります。

結びに、愛護会の益々のご発展と、役職員の皆様及びご参集の皆様お一人おひとりのご健康とさらなるご活躍をお祈り申し上げます。御祝いの言葉といたします。

## 祝

### 地域に暮らす人々の生活を守る



元復興大臣・参議院議員

平野達男

本日は、社会福祉法人愛護会創立50周年記念式典が盛大に開催されますことを心よりお慶び申し上げます。

高野繁喜理事長を先頭に、半世紀もの長きにわたり、奥州市を中心とした地域の福祉を支えるために、日夜ご尽力下さっている皆様には、深く敬意を表します。

岩手県に暮らす人々の健康を守ることは、岩手県の直面する最優先の課題の一つです。特に、子ども達やご老人、そして、障がいを負った皆様の健康への配慮は欠かせません。

社会福祉法人愛護会の皆様が提供されている地域子育て支援や一時預かりなどの保育サービス、特別養護老人ホームや短期入所施設の運営などの老人福祉サービス、そして、障がい者の地域活動支援センターや障がい者の更生相談事業などの障がい者福祉サービスは、地域に暮らす人々の健康を守り、住民の皆様の福祉を支える大きな柱となっております。

これからも、地域のコミュニティーを維持し、地域に暮らす人々の生活を守っていかなければなりません。社会福祉法人愛護会の皆様によるご活躍が、今後も強く期待されています。

私も、岩手県選出の国会議員として、引き続き、東日本大震災からの一日も早い復旧・復興、そして、岩手県に暮らす人々の福祉の充実に向けて、全力で取り組んでまいります。

結びに、社会福祉法人愛護会の益々のご発展と、本日も参集された皆様全員のご多幸とご健勝を祈念いたしまして、私のお祝いの言葉とさせていただきます。

## 辞

### 乳幼児から高齢者までの福祉を推進



奥州市長

小沢昌記

社会福祉法人愛護会が創立50周年を迎えられたことを、心からお祝い申し上げます。

昭和39年に設立された貴会は、昭和40年に「金ヶ崎保育園」を、昭和49年には知的障がい者更生施設「静山園」を開設し、県内でも福祉事業の先駆として、そして胆江地域の牽引役として活躍され、その後も乳幼児や障がい者の福祉施設の拡充整備を行い、平成24年には地域密着型特別養護老人ホーム「愛護苑」により高齢者福祉事業を展開し、広く福祉の向上に寄与してされました。

高野理事長、役員をはじめ職員の皆様方の多年にわたるご熱意とご尽力に深く敬意と感謝の意を表する次第であります。

他方、愛育研究所においては各施設に勤務する職員が研究と実践を進めることにより資質向上を図られておりますし、福祉の森自衛消防隊や地区ボランティア活動などを通して地域コミュニケーション活動、地域づくりに貢献されており感謝申し上げます。

本市においても、「健康で安心して暮らせるまちづくり」を施策の大綱に掲げ、障がい、介護等のさまざまな理由から支援を必要とする方々に対し、地域全体で見守る社会を構築するため取り組んでおりますので、より一層の御理解と御協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、創立50周年を契機として、障がい、そして乳幼児から高齢者までの地域福祉の推進と充実に、より一層の御協力をお願いいたしますとともに、社会福祉法人愛護会のより一層の御発展を祈念申し上げ、創立50周年のお祝いの言葉とさせていただきます。

## 祝

### 培った経験と専門性を地域に還元



金ヶ崎町長

高橋 由一

このたび、社会福祉法人愛護会が創立50周年を迎えられましたことに、心からお祝いを申し上げます。

社会福祉法人愛護会は、昭和39年12月に財団法人として設立認可を受け、翌昭和40年に金ヶ崎保育園を開園されたのを皮切りに、現在では、保育事業、障がい者援護事業、障がい者地域生活援助事業、長寿福祉事業を展開され、胆江地区において地域福祉にかかわる重要な役割を担っていただいております。

金ヶ崎町においても、「金ヶ崎保育園」をはじめ「たんぼぼ保育園」、「子育て支援センター」を運営していただいております。第九次総合発展計画の中で重点プロジェクトに掲げている「安心子育てプロジェクト」において重要な役割を担っていただいていることに、改めて感謝を申し上げます。

サービス提供においては、利用者の意向を尊重し、創意工夫することにより利用者の尊厳を保持しつつ、また、利用者の能力に応じ、自立した日常生活を地域社会において営むことができるよう支援していることに、深く感銘するものであります。また、「愛護会地域福祉推進協議会」を設置し、奥州市各区及び金ヶ崎町に支部を置き、各種事業で培った経験と専門性を地域に還元し、地域づくりに貢献されていることに対し感謝申し上げます。

結びに、輝かしい業績を築いてこられた愛護会が、さらなる地域福祉の向上に活躍されることをご祈念申し上げますとともに、理事長をはじめ職員の方々の皆さま並びに関係各位のご健勝をお祈りいたしまして、お祝いの言葉といたします。

## 辞

### 実績を土台に地域福祉を推進



社会福祉法人  
岩手県社会福祉協議会会長

桑島 博

社会福祉法人愛護会が創立50周年を迎えられましたことを、心からお祝い申し上げます。

愛護会は、昭和39年に財団法人金ヶ崎愛護会として設立され、翌年の昭和40年に金ヶ崎保育園を創設されました。

その後においても、静山園の開設をはじめ、児童福祉、障がい者福祉及び高齢者福祉の充実のため事業を拡大され、本県の社会福祉の推進に大きな役割を果たしてこられました。

その後も、高野繁喜理事長をはじめ、関係者の皆様の献身的なご努力により、今日の愛護会が築かれてきたところであり、このたび、創立50周年を迎えられましたことは、誠に喜ばしく、皆様方のご労苦とご努力に対しまして、心より敬意を表するものであります。

ご承知のとおり、近年、急速な少子高齢化や過疎化の進行等の影響により県民の生活環境は大きく変化し、既存の福祉サービスだけでは対応できないような多様な生活課題が生じております。

今、国・地方の財政は大変厳しい状況にありますが、このような中にありましても、私達には、福祉サービスを質・量ともに充実したものにしていける努力が求められており、関係者が心一つにして地域福祉を推進していくことの重要性が一層高まっていると感じております。

岩手県社会福祉協議会といたしましては、当会の基本理念である「地域福祉を推進し、誰もが住み慣れた家庭や地域で、共に支えあい、自分らしく、安心して生活することができる、豊かな福祉社会の実現」に向けて、愛護会をはじめ関係機関・団体の皆様方とこれまで以上に連携を図りながら、岩手の地域福祉の充実に努めて参りたいと考えておりますので、引き続きご協力賜りますようお願いいたします。

創立50周年を契機に、これまで築き上げてこられた多くの実績を土台に、関係者の方々との結びつきをさらに深められ、愛護会がますます発展されますようご祈念申し上げます、お祝いの言葉といたします。

## 祝

### 人道的な事業で社会貢献



岩手県議会議員

渡辺 幸貫

愛護会様の50周年心よりお祝い申し上げます。  
貴法人が展開されておられる保育園、障がい者支援施設、特別養護老人ホームをはじめ、多くのグループホーム等の福祉施設は益々高まる高齢化社会にとっての必要性は言うに及ばず、地方の消滅の現実の課題とともに重く私たちにのしかかっております。

愛護会様におかれましては、地域の先達としてこれらの人道的な事業に取り組まれ社会貢献して来られたことに、心から敬意と感謝を申し上げる次第です。

昨年6月に医療介護総合確保推進法が成立し、今国会には国民健康保険法案も提出され、団塊の世代が75歳以上となる2025年に向け矢継ぎ早の改正が進められております。

しかし、10年先どころか患者調査によれば1984年の入院患者の後期高齢者の割合は約2割であったのに、11年にはすでに5割を超えて病床は満員状態で満足に歩けないのに早期の退院を余儀なくされています。老夫婦世帯あるいは単身の高齢者にとっては病気や怪我でもすれば、家庭での生活が続けられない事態に見舞われることとなります。

社会福祉施設の必要性は論を待たない。未来は常に明るいと信じてきた地域住民にとって社会構造の変化に遅れがちな政治、行政は財源不足、医療の現実など、対応の遅れに危機感を感じております。

愛護会さまの救いの手を是非広めていただくことをご期待申し上げます。

## 辞

### 真の「福祉の心」を肌で実感



愛護会地域福祉推進協議会顧問  
岩手県議会議員

佐々木 努

社会福祉法人愛護会創立50周年に当たり、心から感謝とお祝いを申し上げます。

私が愛護会とお付き合いをさせていただいたのは4年前からであり、創立から50年という長い歴史の中ではほんの一部でしかありません。しかしながらこの4年間、高野繁喜理事長をはじめとする職員の方々、そして愛護会を支える助成協力会の方々と交流をさせていただく中で、愛護会の根底に流れる真の「福祉の心」を肌で感じ、改めて福祉の尊さと重要性を感じました。

私には知的障がいをもった兄がおり、小さい頃から両親の苦勞を見て育ちました。私も子ども心に障がい者が身内にいるという引け目を感じながら幼少期を過ごしてきたような気がします。

しかし、近年、社会福祉に携わる多くの方々の弛まぬ努力が実を結び、障がい者に対する世の中の理解が進んで、障がい者を取り巻く環境は大きく改善されました。それが兄だけでなく、両親や自分にとっても大きな心の救いとなりました。そのような社会の礎を築いてきたのは間違いなく愛護会であり、私には「感謝」という言葉しか見つかりません。改めて高野理事長をはじめとする愛護会関係者の方々に心から御礼を申し上げます。

世の中がどんなに変わろうとも、支えあいながら生きていく人間としての営みは普遍です。愛護会の信条である路傍の石の一節「たった一人しかない自分を、たった一度しかない人生を、本当に生かさなかつたら、人間生まれた甲斐がないじゃないか」の精神が多くのの人々に伝わり、愛護会が目指す社会が必ずや実現することを信じ、愛護会の今後益々の発展をお祈りして、50周年に当たってのお祝いの言葉と致します。

## 祝

### 基本理念に基づいた運営



岩手県議会議員

郷右近 弘

この度、社会福祉法人愛護会様が創立50周年を迎えられましたことに、心よりお慶びを申し上げます。

金ヶ崎保育園設立から始まった福祉の歩みが、障がい者更生施設や授産施設の設置、また更なる保育園の開園や特別養護老人ホームの開所など、常に地域や社会の要請に併せ、大きく育ってまいりましたことは、愛護会の理念が地域や施設の利用者の方々に理解され、利用者が地域で愛され、施設が地域に溶け込むことが出来ている表れであると思います。

また、私の息子も第二東水沢保育園でお世話になりましたが、当時驚かされたのは、子どもたちの障がいを持った方への偏見や差別の無さであり、それぞれを個性と捉え、違和感なく自然に付き合っているということでした。

障がいを持った子、持たない子。障がいを持った方やお年寄りとの交流など普段から一緒にいる時間が多いことで子どもたちは心を育てていただいているものと思います。そして今日、インクルーシブ教育という言葉が使われて久しいですが、特別なものにすることなく、自然体での保育園の日常から、子どもたちは素晴らしい人格を育てていただいているものと思っております。

今後とも、基本理念に基づいた愛護会にしか出来ない保育、愛護会らしい子育て・運営を続けていただき、社会福祉法人愛護会様が益々ご発展されますこと、そして関係皆様のご健勝・ご多幸をお祈りいたします。

## 辞

### 福祉事業で先導的な役割を



岩手県議会議員

後藤 完

社会福祉法人愛護会の創立50周年おめでとうございます。

そして、永年にわたり地域の福祉向上、とりわけ高齢者福祉にご尽力いただきましたこと深く感謝を申し上げます。

さて、近年においては、国や自治体の財政状況が厳しく、その財政の立て直しに知恵を出し合いながら一丸となって、取り組んでいるところであります。

今般も政府においては、介護サービス事業者に支払う介護報酬を今回の改定で2.27%の引き下げを決定したところであります。

特にも介護従事職員の賃金アップは確保したとはしておりますが、高い離職率の改善や人材の安定的な確保に繋がるかは、とても厳しい状況にあるとされております。

また今回の改定により、特別養護老人ホーム等においては、大幅な減収となる見込みでありまして、事業者は経費の節減を余儀なくされるものであります。

事業者の減収によって経営が悪化し、サービスの低下となることが想定されるものであり、福祉事業サービスに、大きな影響がでるものと思われれます。

従前からのこの制度への頼みの発想は、今後変えていかなければならない状況であると思われれます。

介護において地域レベルで解決できる手法を模索し、検討する必要があると思われれます。地域がひとつになって、政策の提案をしていく必要性から、当法人が中心となり今後の対応に、先導的な役割を果たされますよう大いに期待し、さらには、施設の健全な運営と今後のご発展をご祈念し、祝辞といたします。

## 祝

### 経営理念・信条に尊敬の念



岩手県議会議員

及川幸子

この度の50周年の創立、心より御祝い申し上げます。愛護会様の経営理念・信条に対し私は常に敬意と尊敬の念を抱いております。

高野理事長様及び役職員皆様の強い理念のもと、地域に根ざした福祉施策の道が長い間変わらぬ事には、私達も頭の下がる思いであります。

平成22年12月14日の公布で、「障がいのある人もない人も共に学び生きる岩手県づくり条例」を、制定させていただきました。その時の責任者として、短期間ではありますが、障がい団体の方々と意見交換させていただき、日常生活の中で困っている事、改善してほしい点等、お聞きし乍ら条例制定の作業をさせていただきました。

平成23年7月1日よりの施行で、全国3番目という条例の制定は、どれほどに関係団体の方々は待たれていた事でしょうか。議会で条例制定を迎えた日、涙の中で、喜びの声が交わされておりました。健常者の立場でなく、常に障がいのある人の立場になり、人としてどうあるべきかを問う事が、私達に課せられた事として、真剣に取り組んでいく、まさに愛護会様の信条のとおりであると感じ入った私です。

ひとくちに50年の歩みと申せ、その道のりはさぞ厳しいものがあったと思います。高野理事長様、今後とも、先導者として、地域の為に尚一層の歩みを進められる様、御祈念申し上げ、お祝いの言葉と致します。

## 辞

### 多種多彩な福祉サービスを提供



奥州市議会議員

佐藤修孝

このたびは、「社会福祉法人愛護会」の創立50周年、誠にありがとうございます。市議会を代表して一言お祝いを申し上げます。

貴団体は、昭和39年に「財団法人金ヶ崎愛護会」として設立、翌40年から金ヶ崎保育園の運営を開始されて以来50年間、奥州市、金ヶ崎町内において、保育事業、障がい者の援護事業・地域生活援助事業など、子ども達や障がいを持つ方々のための多種多彩な福祉サービスを提供していただいております。

高野理事長をはじめ、職員の皆様の弛まぬご努力により、徐々に施設・設備を拡大、サービスの充実を図りながら、当地域の福祉を牽引する中核的な団体として、障がいを持つ方々やその家族に、安心安全な生活を提供し続けておられることに、心から敬意を表し感謝を申し上げます。

高齢者や障がい者の方々が、明るくいいきと暮らせることは、その社会の豊かさを計る一つの「ものさし」であると存じます。誰もが健康で、毎日楽しく暮らせる地域社会、そんなまちづくりを目指して進みたいと考えております。

市議会におきましても、行政当局や関係機関の方々と共に連携して、福祉施策の充実をめざし、一層の努力を重ねてまいります。

結びに、「社会福祉法人愛護会」の益々のご発展と職員の皆様方のご健勝とご活躍を心からお祈り申し上げます。祝辞といたします。

## 支えあう共生社会の実現へ向けて



金ヶ崎町議会議長

伊藤 雅章

社会福祉法人愛護会が、ここに創立50周年を迎えられましたことを心からお慶び申し上げます。

貴法人は、昭和39年12月財団法人金ヶ崎愛護会として保育事業を開始し、昭和45年12月から現在の社会福祉法人愛護会と改め、以来、保育事業に加えて障がい者援護事業、障がい者地域生活援助事業、長寿福祉事業と幅広い福祉事業を展開し、順調に成果を上げられておりますことは、誠に喜ばしく同慶のいたりであります。

近年、殺人や児童虐待、DV等、殺伐とした事件が数多く報道され、暗潜たる心持ちにさせられることが数多く散見されます。このことは、私たちの生活に不安な要素が増え、ともすれば人間的な心を見失いがちになることが多くなってきたことの表れかもしれません。

今日、社会的弱者といわれる障がい者や子供たちを含め、誰もが相互に尊重しあい、支えあう共生社会の実現が強く求められているときはないのではないかと思います。

このような状況下、貴法人は、利用者が個人の尊厳を保持し、心身ともに健やかに育成され、その有する能力に応じ自立した日常生活を地域社会において営むことができるよう支援するという社会福祉法人の目的に沿って多様な福祉サービスを提供するとともに、職員の1人1研究をすすめる公開研究発表会を行うなど、職員の資質向上に積極的に取り組んでおられますことに、改めて敬意を表するものであります。

結びに、社会福祉法人愛護会創立50周年をひとつの節目とし、さらなるご発展を遂げられますことをご期待申し上げ、役員の方々をはじめ、職員の皆様のご健勝とご活躍をお祈り申し上げお祝いの言葉といたします。

## 広範囲にわたる福祉増進に尽力

社会福祉法人  
奥州市社会福祉協議会会長

岩井 憲男

この度、社会福祉法人愛護会が創立50周年を迎えられましたことを心からお祝い申し上げます。

また、前身であります金ヶ崎愛護会が昭和39年12月に財団法人の設立認可を受けて以来、50年にわたり、保育所においては乳幼児を日々保護者に代わって保育することに打ち込んで参りました。また障がい施設では障がいを持つ多くの方々の社会参加や就労の機会の創出を通して、胆江地区の障がい福祉の向上と発展に寄与されておりますことは、初代理事長をはじめ役員、職員及び関係者の皆様の強い意志と弛まないご尽力の賜物と敬意を表するものであります。

さて、貴法人が経営される施設には、昭和40年開所の金ヶ崎保育園、昭和49年開所の静山園、平成24年6月開所の愛護苑など広範囲にわたり施設建設等を進め、子どもから高齢者までの福祉増進に尽力されてこられました。この間、保護者、当事者本人及びご家族からの相談に応じ各種サービス利用のための支援や調整等を行い、特に障がい者の社会的自立を援助されてきたことは、地域社会にとりましても非常に有意義なことと存じます。

奥州市社会福祉協議会といたしましても、誰もが心の豊かさと幸せを実感できる福祉のまち奥州市の形成を基本理念として、奥州市を始め福祉施設・団体、市民活動団体等と連携、協働しながら事業推進に取り組み、福祉の充実に一層努力して参る所存であります。

結びに当たり、社会福祉法人愛護会の今後益々のご発展をご期待申し上げますとともに、関係各位のご健勝とご多幸を心からお祈り申し上げ、お祝いの言葉といたします。

## 祝

### 一人ひとりの輝きを求めて



社会福祉法人  
金ヶ崎町社会福祉協議会  
会長職務代理者

千葉政幸

社会福祉法人愛護会様の創立50周年誠にありがとうございます。半世紀もの長い間この胆江地方の社会福祉の地位向上・発展に多大のご功績にあられたためまして敬意とお祝いを表したいと存じます。

貴法人は、昭和39年12月1日財団法人金ヶ崎愛護会を設立され、翌年1月9日定員60名とする「金ヶ崎保育園」を運営されて以来「二度とない人生一人ひとりが輝ける生き方」の支援を基本理念として、社会福祉事業全般にわたり積極的に取り組まれてきました。金ヶ崎町社会福祉協議会を代表してお祝い申し上げます。

私事となりますが、昭和47年4月金ヶ崎町役場に採用され最初に配属されたのは、「福祉課」でした。当時町内の児童福祉施設は、町立児童館（後に幼稚園に切り替え）6ヶ所、愛護会が経営する金ヶ崎保育園の計7ヶ所でした。児童館、保育園ともに福祉課が担当しており、入園申し込み時期になると担当者がたてこ舞いであったことが思い出されます。「保育に欠ける児童の保育」と「幼児教育を目標とする保育」の違いを知ることができたのもこの時でした。その後時間の経過と社会の働き方の構造変化により、「保育ニーズ」の高まりが一層鮮明となり今日に至っています。

その後各部署を務め23年ぶりに課長として平成7年4月出戻りました。6ヶ所あった幼稚園は4ヶ所に、金ヶ崎保育園は定員120名と大きく変わっており、時代だなあとつくづく実感しました。また、定員増していただいても入所を希望される待機児童が多いことから、高野理事長に無理なお願いをして定員オーバー枠10%を使ってその解消を行っていただきました。高野理事長は「若いお母さんたちのためなら愛護会としてお手伝いしないわけにはいかない」と嫌な顔一つしないで引き受けていただきました。実際には保母さんの確保に難儀を予想しても受けていたことを後に知りました。「愛護会の原点は金ヶ崎、金ヶ崎町からお願いされたら断るわけにはいかない」と懇談の機会に話されたのを聞いてほっとしたり、恐縮したことが思い出されます。

創立50周年を節目に愛護会様の更なる飛躍・発展を祈念してお祝いの言葉とさせていただきます。

## 辞

### 地域の現状やニーズを把握



岩手県社会福祉協議会・  
保育協議会会長

藤本達也

社会福祉法人愛護会が50周年を迎えられました事、心からお祝い申し上げます。

昭和23年に児童福祉法が制定されて、保育所が法的に施設として認可されてより、保育業界は、現在、最大の過渡期を迎えております。平成27年4月より実施された、子ども・子育て支援法に鑑みて、保育所や幼稚園が、今のままのかたちで存続をさせていくのか、新たに認定こども園としてのスタートを切るのか、この5年の間に判断をするよう国に迫られております。

市町村の首長や施設の関係者は、それぞれの地域における現状やニーズをよく把握し、誤りのない確かな決断を下さなければならない責任の重さを痛感していることと思います。

いずれにせよ、地域に保育を必要とする子どもがいるのであるとしたなら、一人も漏らすことなく、その子どもの最善の権利と幸せを守るべく、日々精進努力の研鑽を積んでいかなければならないと心に誓っております。

子どもは私たちにとってかけがえのない宝物なのですから・・・。

50周年にあたり、社会福祉法人愛護会の一層の飛躍と発展を祈念致しまして、お祝いの言葉とさせていただきます。

## 法人情報を外部へ向けて発信



岩手県知的障害者福祉協会会長

鷹 狩 武 寿

春風若葉にかおる佳き日、貴法人が創立50周年という節目を迎えられましたこと、誠におめでとうございます。昭和39年の設立から今日まで、並々ならぬご苦勞がございましたことと推察いたしますとともに、携わってこられた歴代の役職員の皆様、運営を支えてこられた利用者とそのご家族の皆様、地域関係者の皆様に対して敬意を表したいと思います。

貴法人は広報誌やホームページ等を活用され、法人情報を外部に向けてしっかりと発信されておられます。また、地域からの期待に十二分に応えられるなど、貴重なご貢献と重要な責務を担ってこられ、今後も期待され続けることと思います。

貴法人が発信されている情報を目にしたとき、ご信条である「たった一人しかない自分を たった一度しかない人生を 本当に生かさなかつたら人間生まれた甲斐がないじゃないか」を真に体現され、ご利用される方お一人お一人に対する支援の在り方、事後分析と改善への取り組みにも全力投球していこうといったものを感じます。このことは、岩手県知的障害者福祉協会としましても、範とすべきと考えております。

結びに、貴法人の役職員の皆様、利用されている方々、関係者の皆様方のご健勝、そして貴法人の益々のご発展をお祈り申し上げ、創立50周年に際してお祝いのことばとさせていただきます。

## 感謝状受賞者ご芳名

役職名

氏名

事績

### ●法人役員（理事）

元理事	(故)山崎一蔵殿	平成5年12月28日就任
元理事	木村英一殿	平成6年11月19日就任
元理事	高橋松男殿	平成9年2月18日就任
元理事	及川近一殿	平成11年8月1日就任
元理事	千田信喜殿	平成17年2月19日就任
元理事	千葉正男殿	平成17年2月19日就任
元理事	尾山恒夫殿	平成18年2月1日就任
元理事	伊藤祐太郎殿	平成18年9月28日就任
元理事	福西正樹殿	平成19年8月1日就任
元理事	菊池育郎殿	平成19年8月1日就任
元理事	千田敏彦殿	平成17年9月26日就任
元理事	小澤謙殿	平成23年5月27日就任
理事	菊池一夫殿	平成14年5月9日就任
理事	佐藤克夫殿	平成21年2月19日就任
理事	及川紀美子殿	平成23年12月27日就任
理事（元監事）	佐々木良光殿	平成15年2月19日就任

### ●法人役員（監事）

元監事	菊池嘉穂殿	平成9年3月4日就任
元監事	小川原尚美殿	平成7年3月27日就任
監事	佐藤豊治殿	平成5年12月28日就任
監事	遠藤計悦殿	平成17年2月19日就任
監事	北條貢殿	平成23年8月3日就任

### ●代々愛護会助成協力会々長

第六代	小原豊殿	平成19年6月から平成25年6月まで
第七代	小原昭仁殿	平成25年6月から現在まで

### ●代々福祉の森防災対策協議会々長

第四代	及川祐次殿	平成22年11月から現在まで
-----	-------	----------------

## ●特別功績（囑託医、協力医）

村井小児科クリニック 院長	村 井 かほり 殿	金ヶ崎保育園、たんぼぼ保育園囑託医
水沢キッズクリニック 院長	菅 原 久 江 殿	東水沢保育園、第二東水沢保育園囑託医
鈴木眼科吉小路院長 美山病院々長	鈴 木 武 敏 殿 及 川 司 殿	協力医（眼科） 愛護苑囑託医

## ●感謝状（30年以上の永年勤続退職職員）

法人本部元事務局長 元職員 元職員 元職員 元職員 元職員 元職員 元職員 元職員	千 葉 豊 志 殿 菊 池 國 子 殿 及 川 光 廣 殿 小野寺 敏 美 殿 菊 池 久美子 殿 佐 藤 一 史 殿 佐 藤 三千代 殿 菅 原 千代枝 殿 幸 野 順 子 殿	昭和53年4月から平成21年3月まで勤務 昭和53年6月から平成26年3月まで勤務 昭和52年4月から平成26年3月まで勤務 昭和54年4月から平成22年3月まで勤務 昭和54年4月から平成22年3月まで勤務 昭和55年12月から平成23年3月まで勤務 昭和54年4月から平成21年3月まで勤務 昭和52年4月から平成27年3月まで勤務 昭和50年4月から平成27年3月まで勤務
---	---	---

## ●感謝状（30年以上の永年勤続者）

金ヶ崎保育園々長 金ヶ崎保育園副園長 金ヶ崎保育園調理員 金ヶ崎保育園保育士 金ヶ崎町子育て支援セ ンター所長	及 川 牧 子 殿 小 野 弘 子 殿 小 原 かつよ 殿 佐 藤 佐代美 殿 高 橋 美佐子 殿	昭和53年から37年間施設職員として尽力 昭和51年から38年間施設職員として尽力 昭和58年から32年間施設職員として尽力 昭和57年から33年間施設職員として尽力 昭和59年から30年間施設職員として尽力
たんぼぼ保育園々長 たんぼぼ保育園副園長 静山園々長 静山園副園長 静山園生活支援員 静山園生活支援員 静山園栄養士 希望の園々長 希望の園副園長 興郷塾々長 興郷塾々長補佐 興郷塾生活介護部長 共同生活援助事業所管 理者	小 澤 和 枝 殿 小 原 睦 代 殿 高 野 徹 殿 久保田 礼 子 殿 村 上 睦 子 殿 高 橋 真 弓 殿 遠 藤 智 子 殿 菊 地 道 代 殿 佐 藤 智 子 殿 村 上 和 男 殿 阿 部 京 子 殿 高 野 光 昭 殿 佐々木 尚 文 殿	昭和51年から39年間施設職員として尽力 昭和52年から38年間施設職員として尽力 昭和49年から41年間施設職員として尽力 昭和52年から38年間施設職員として尽力 昭和54年から36年間施設職員として尽力 昭和54年から36年間施設職員として尽力 昭和52年から38年間施設職員として尽力 昭和54年から36年間施設職員として尽力 昭和57年から33年間施設職員として尽力 昭和52年から38年間施設職員として尽力 昭和54年から36年間施設職員として尽力 昭和52年から38年間施設職員として尽力 昭和53年から37年間施設職員として尽力

役職名	氏名	事績
愛護会障害者総合相談センター主任就業支援担当者	千葉隆男 殿	昭和54年から35年間施設職員として尽力
ときわ寮管理者	佐藤善美 殿	昭和52年から38年間施設職員として尽力
法人本部財務課会計係長	佐藤まゆみ 殿	昭和52年から37年間施設職員として尽力

## ●特別功績（施設推薦者）

羽田地区民生児童委員協議会	佐藤満 殿	平成11年から希望の園との交流会に協力
千養寺総代長	菊池亮一 殿	平成11年から千養寺焼陶芸館の運営に協力
奥州市立羽田小学校	三田卓郎 殿	永年にわたり体育祭、施設との交流会に協力
東北白金(株)	江口敏臣 殿	平成15年から受託作業の提供に協力
(株)回進堂	菊地清 殿	平成15年から受託作業の提供に協力
(株)岩手畜産流通センター	村川健一 殿	平成16年から受託作業の提供に協力
(株)ハローワーク	錦山恵美子 殿	平成22年から受託作業の提供に協力
裏千家茶道教授	平間宗秀 殿	平成19年からたんぽぽ保育園でお茶教室指導に協力

## ●感謝状（多額寄付者）

(株)高豊	高橋丈博 殿	永きにわたり愛護会に多くの浄財を寄付された
菊地タカ商店	菊地孝男 殿	永きにわたり愛護会に多くの浄財を寄付された
小原自動車工業(株)	小原昭仁 殿	永きにわたり愛護会に多くの浄財を寄付された
(有)佐々豊	阿部幸浩 殿	永きにわたり愛護会に多くの浄財を寄付された
(有)小野寺青果	小野寺勝一 殿	永きにわたり愛護会に多くの浄財を寄付された
(株)河口	河口仁朗 殿	永きにわたり愛護会に多くの浄財を寄付された
水沢フードサービス	菅原伸三 殿	永きにわたり愛護会に多くの浄財を寄付された
(株)今野商店	今野眺 殿	永きにわたり愛護会に多くの浄財を寄付された



# 社会福祉法人 愛護会

## 創立50周年記念祝賀会次第

- 1 開会のことば 記念事業協賛会副会長 千田 二男
  - 2 主催者挨拶 記念事業協賛会々長 小原 昭仁
  - 3 祝 辞 岩手県議会議員 佐々木 努 様  
岩手県知的障害者福祉協会々長  
鷹觜 武寿 様
  - 4 謝 辞 社会福祉法人愛護会 理事長
  - 5 乾 杯 岩手県議会議員 及川 幸子 様
  - 6 祝 踊 菊 勝 会 様
  - 7 懇 親 菊勝会・韓国舞踊団 様  
奥州水沢颯人<sup>さつ</sup>和太鼓乃会 様
  - 8 中 締 め 岩手県議会議員 郷右近 浩 様
  - 9 閉会のことば 記念事業協賛会副会長 烏海 恭司
- [司会者] フリーアナウンサー 吉田 知佳



## 愛護会の基本理念・信条

たった一人しかない自分を  
たった一度しかない人生を  
本当に生かさなかつたら  
人間生まれた甲斐がないじゃないか

## 福祉事業の基本方針

- 1 保育事業部会**  
たくましい子を生み育てるための  
研究と実践をすすめる

---

  - 2 障がい者援護事業部会**  
障がい者の生き甲斐を保障する環境（社会）づくりの  
研究と実践をすすめる

---

  - 3 障がい者地域生活援助事業部会**  
みんなの幸福を創り育てる福祉文化の構築をめざす  
研究と実践をすすめる

---

  - 4 長寿福祉事業部会**  
長寿とやすらぎを提供する環境づくりの  
研究と実践をすすめる

---

  - 5 法人本部事務局**  
社会福祉法人愛護会の事業の目的を達成するため、  
組織の長期安定と成長を生み出す経営の  
研究と実践をすすめる
- 

## オープニング 保育園の歌



## 高野繁喜理事長 式辞



## 御 来 賓



## 愛護会役員



## 感謝状贈呈



## 50周年総括報告・千田寿人 専務理事



50周年総括報告・三浦弘子 保育事業部会長



50周年総括報告・高野徹 援護事業部会長



## 50周年総括報告・佐々木尚文 地域生活援助事業部会長



## 50周年総括報告・千葉信男 長寿福祉事業部会長



# 法人歌斉唱



祝賀会での謝辞・高野繁喜理事長

